

## 6-2 沖縄地方とその周辺の地震活動（1991年11月～1992年4月）

### Seismic Activity in and around the Okinawa District (November, 1991 – April, 1992)

沖縄気象台

Okinawa Meteorological Observatory, JMA

1991年11月から1992年4月までの震央分布を第1図に、与那国島における日別地震回数（黒塗り）はS-P時間 $\leq$ 6.0秒の地震回数）を第2図に示す。この期間に管内の気象官署で有感となった地震は54個発生した。

台湾東方沖及び西表島付近でやや活発な地震活動があった。この期間、最も規模の大きかった地震は、1月31日03時13分に沖縄島近海で発生した地震（M：5.2）で、那覇と久米島で震度Iを観測した。

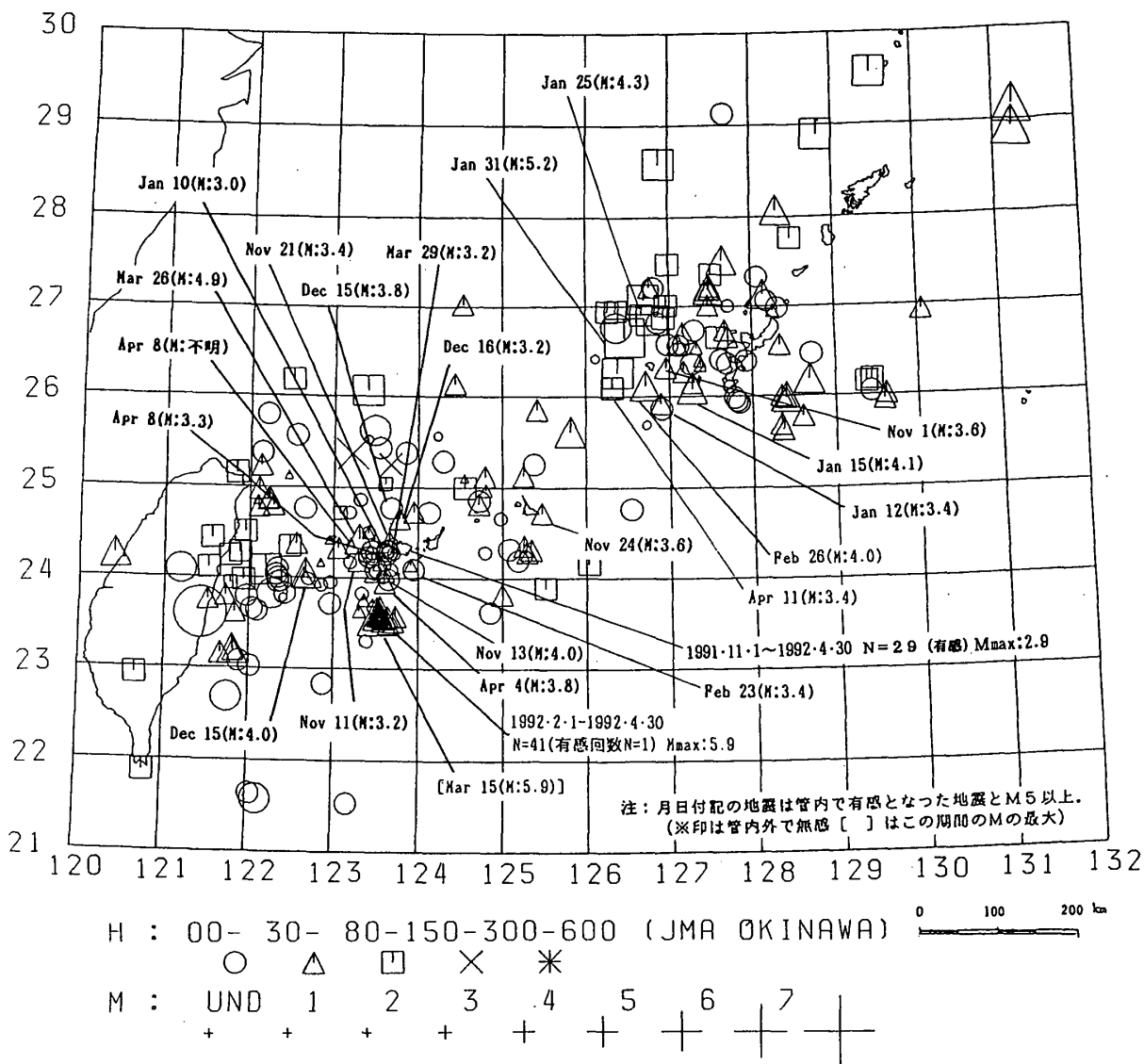
石垣島（西表島付近）の群発地震は、昨年1月23日に始まり、1992年4月30日現在で725回（震度Ⅳ：10回、Ⅲ：43回、Ⅱ：149回、Ⅰ：525回）の有感地震を観測した。

最大規模の地震は3月31日14時26分に発生したM：4.3の地震であり日別有感地震回数の最多は2月13日の48回であった。1991年4月下旬以降は、沈静化しているが、1992年1月30日には震度Ⅱを含む7回の有感地震を観測した。日別有感地震回数が7回以上となったのは1991年4月18日以来である。

1992年3月15日10時01分（M：5.9）石垣島近海で発生した地震は、西表島の南方約90kmの海域であり、同海域における有感地震の発生は過去には記録がない。この地震の震央付近では、2月1日から4月30日まで41個の震源が決定した。1992年4月20日03時32分、台湾（花蓮）付近の地震（M：6.0 H：20km USGSの速報によるとM5.9）は、管内では無感であった。新聞報道によると「台湾で地震があった。揺れは約1分間続き、花蓮近くの高速度道路が地滑りのため通行止めとなった」と伝えている。この付近は、1990年12月14日（M：6.3、最大震度Ⅴ：花蓮）にも地震が発生している。

1991年11月から1992年1月の震央分布を第3図に、1992年2月から1992年4月までの震央分布を第4図に示した。また、与那国島の短周期地震計により観測された、S-P時間が約6秒の地震波形の記録例を第5図に示した。

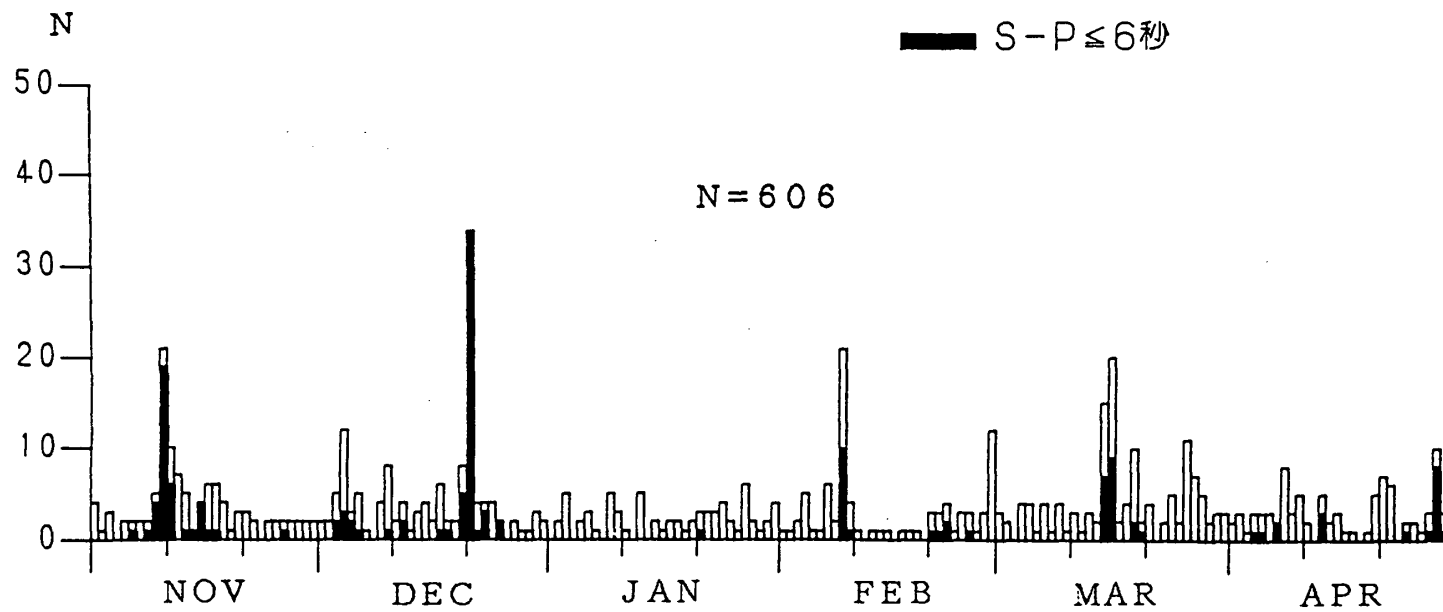
1991 11 1 --- 1992 4 30 N=265



第1図 震央分布 (1991年11月~1992年4月)

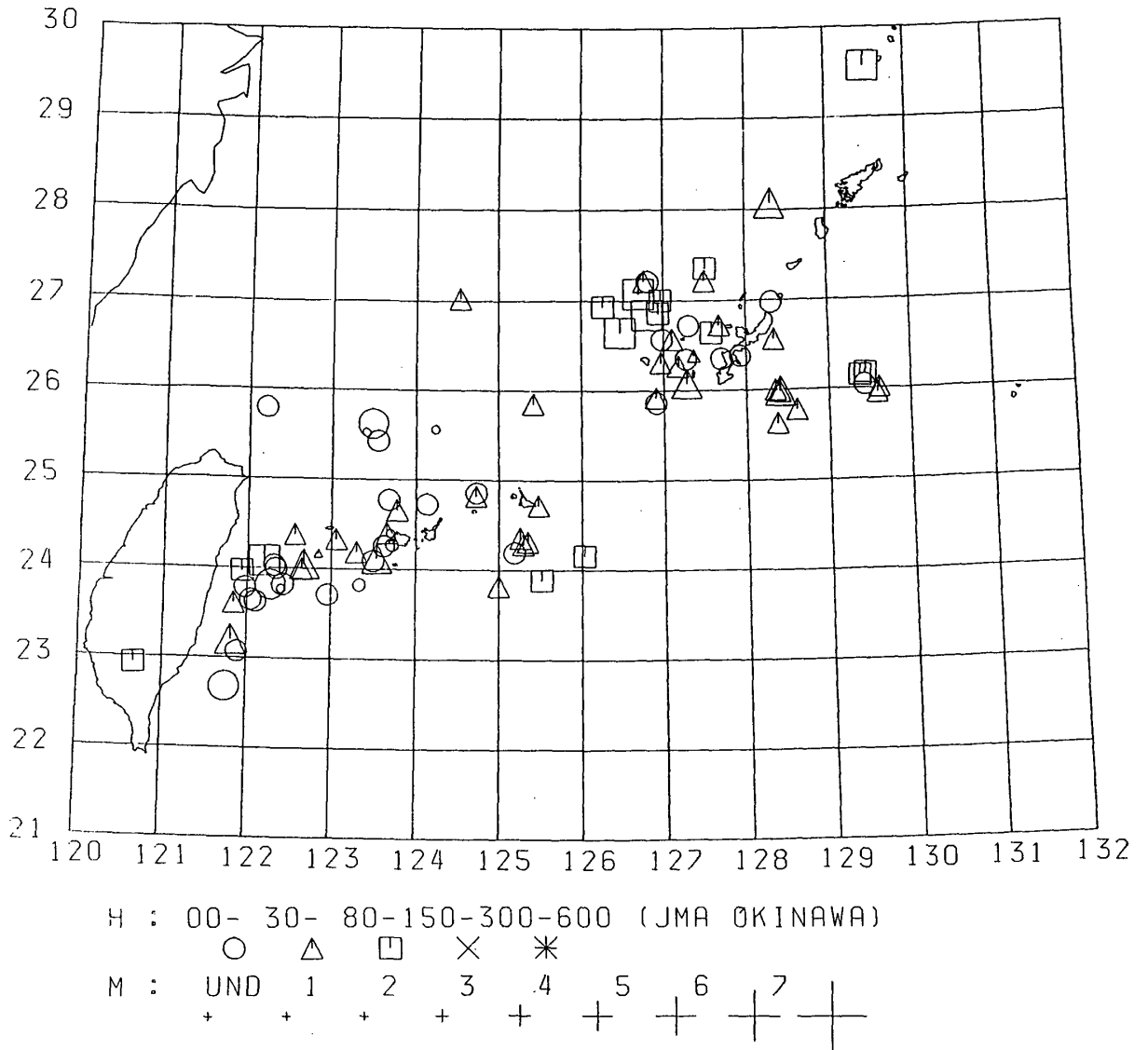
Fig. 1 Epicentral Distribution. (November, 1991 - April, 1992)

# 与那国島における日別地震回数 (1991-1992年)



1991 11 1 --- 1992 1 31

N=88

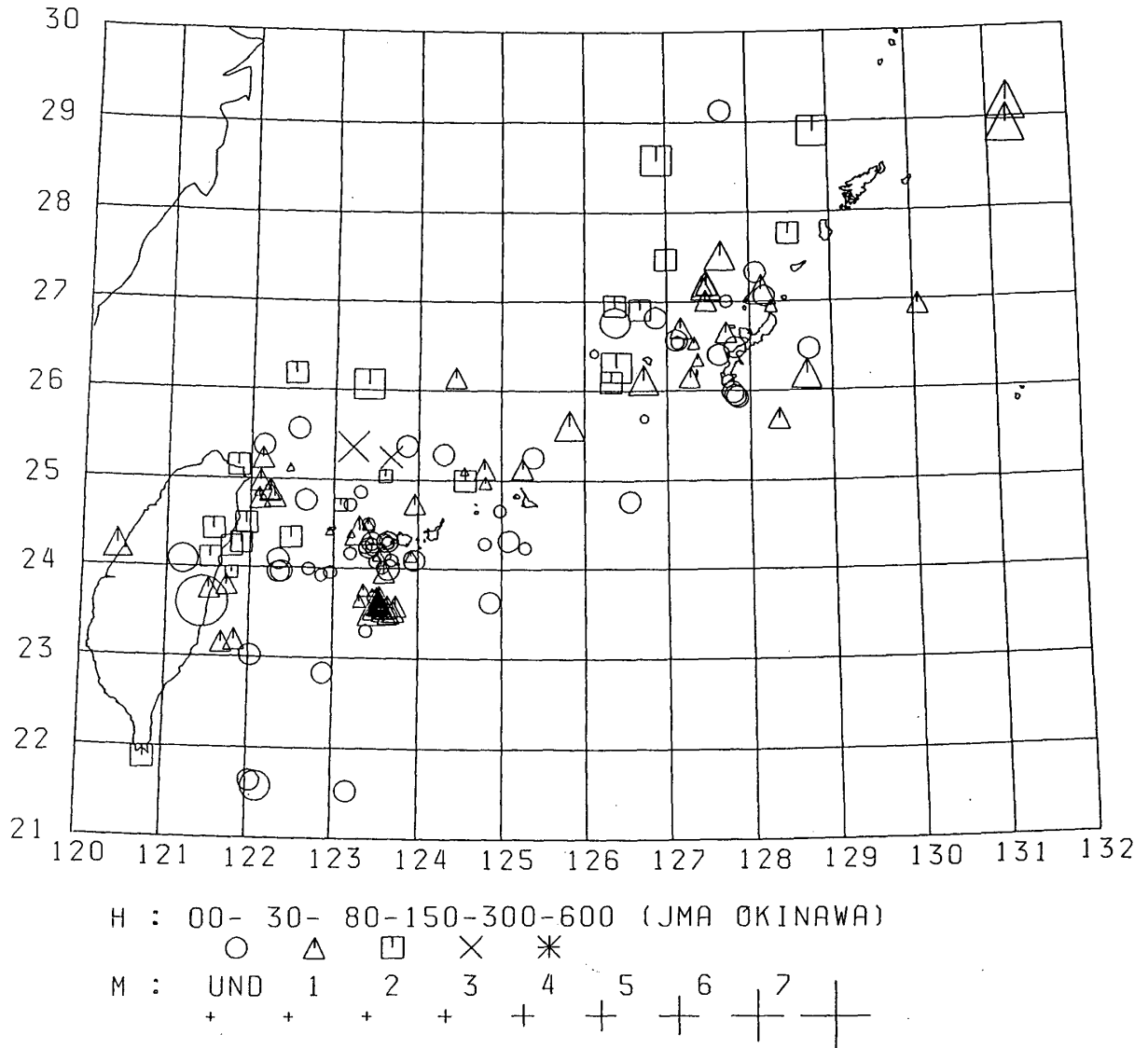


第3図 震央分布 (1991年11月~1992年1月)

Fig. 3 Epicentral Distribution. (November, 1991 - January, 1992)

1992 2 1 --- 1992 4 30

N=177

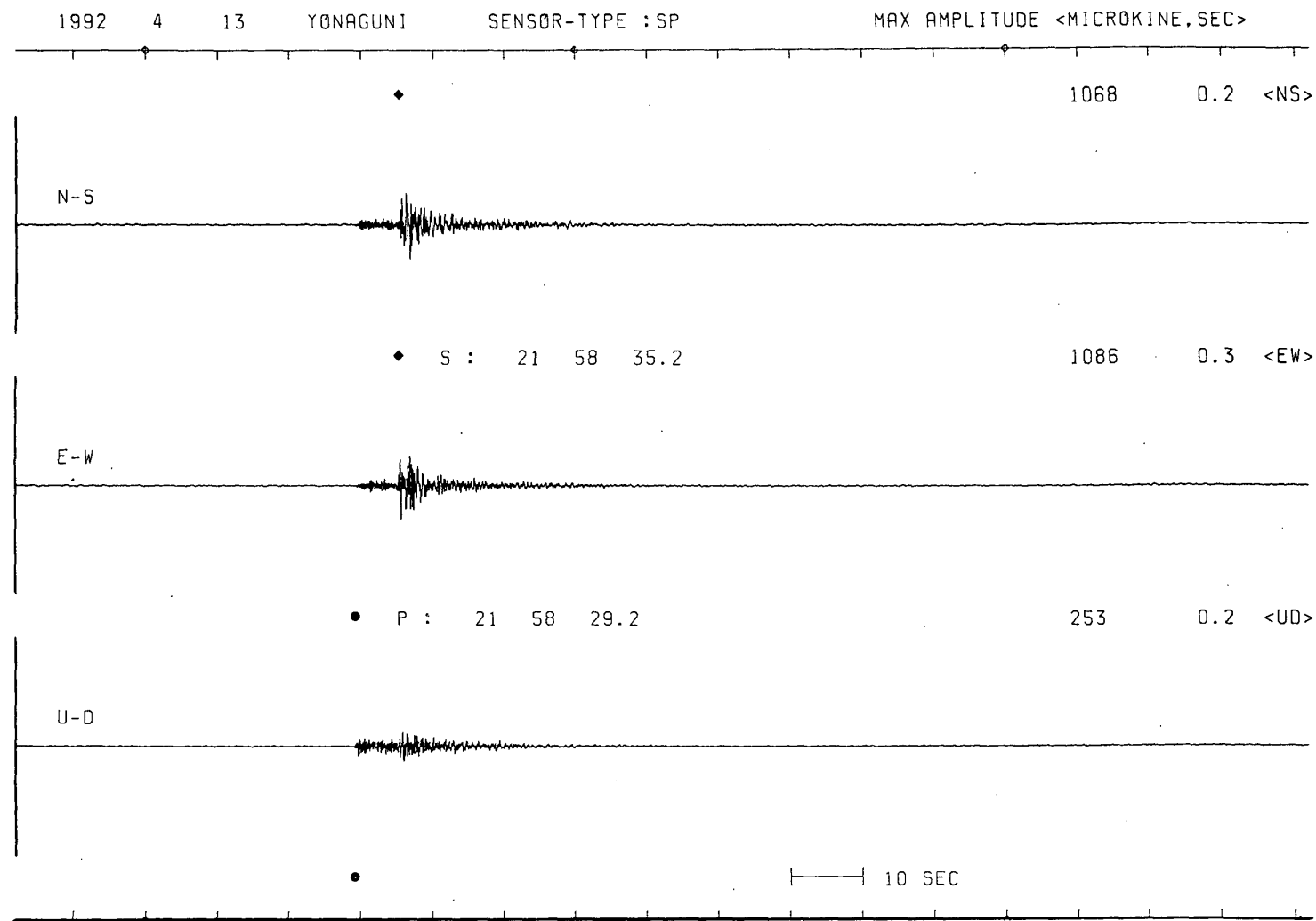


第4図 震央分布 (1992年2月~1992年4月)

Fig. 4 Epicentral Distribution. (February, 1992 - April, 1992)

震源要素

OT: 1992年4月13日21時58分 24° 16' N 123° 27' E h=26km M=3.0



第5図 与那国島における短周期地震計による地震波形の記録

Fig. 5 Seismograms at Yonagunijima weather station.